

手術前等に行われる肝炎ウイルス 検査に関する調査結果について

調査の概要

- ・ 目的

国の肝炎対策基本指針に基づき、各医療機関における手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果について、受検者に確実な説明を行い受診につなげるよう取組をお願いしている。

本調査は、県内の取り組み状況を把握することを目的とする。

- ・ 方法

Microsoft formsによる調査
(選択・記述式)

- ・ 対象

県内の病院・有床診療所 114施設

- ・ 調査期間

令和7年1月30日～2月13日

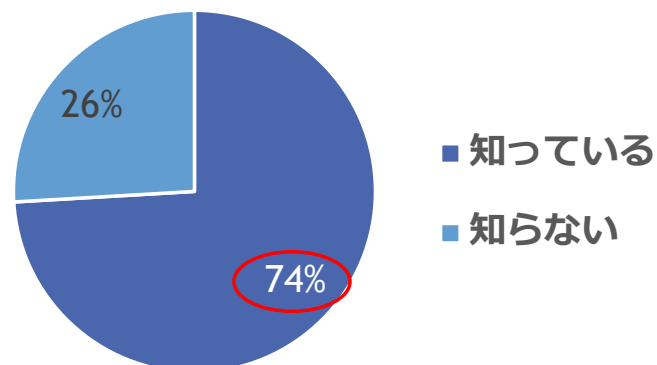
- ・ 回答

81/114施設 71%

調査結果について

設問1 手術前医学管理料、短期滞在手術等基本料に包括されている肝炎ウイルス検査を行う場合に、結果が陰性であった場合も含め、結果について患者に適切な説明を行い、文書により提供する必要があることをご存知でしょうか。

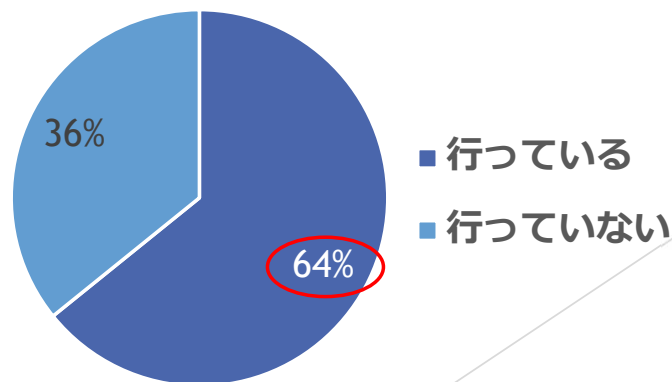
知っている	60
知らない	21
総数	81



知っていると回答した医療機関が約74%
一方、知らないと回答した医療機関が約26%

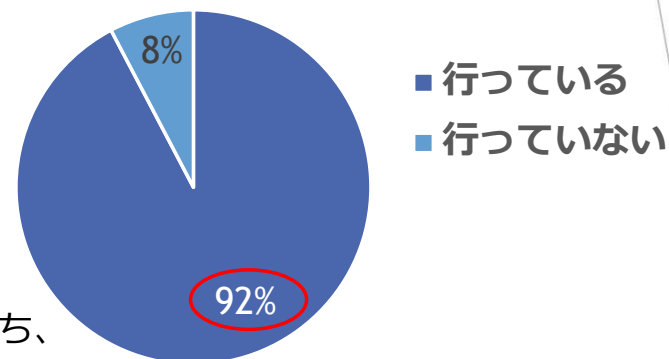
設問2 貴医療機関において、手術等の観血的処置を行っていますか。

行っている	52
行っていない	29
総数	81



設問3 貴医療機関において、手術前等に行われる検査で肝炎ウイルス検査（HBs抗原またはHCV抗体検査）を行っていますか。

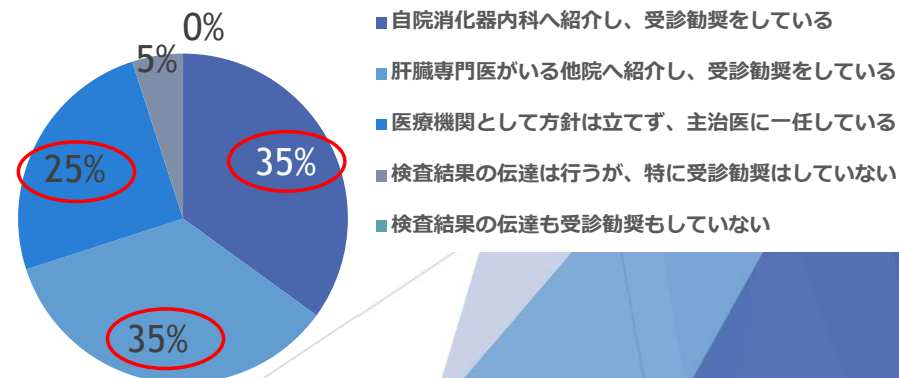
行っている	48
行っていない	4
総数	52



設問2で観血的処置を行っていると回答した医療機関のうち、約92%が手術前等で肝炎ウイルス検査を実施している

設問4 肝炎ウイルス検査で「陽性」だった患者への受診勧奨等の対応状況について教えてください。（複数回答可）

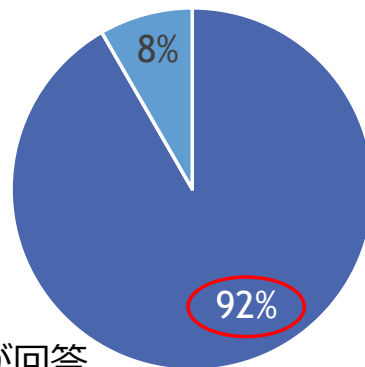
自院消化器内科へ紹介し、受診勧奨をしている	21
肝臓専門医がいる他院へ紹介し、受診勧奨をしている	21
医療機関として方針は立てず、主治医に一任している	15
検査結果の伝達は行うが、特に受診勧奨はしていない	3
検査結果の伝達も受診勧奨もしていない	0
総数	60



「陽性」だった患者へ受診勧奨を行っているとは回答した医療機関は95%

設問5 肝炎ウイルス検査の結果を患者に説明していますか。

説明している	44
説明していない	4
総数	48

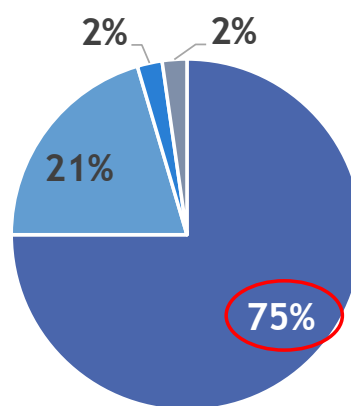


- 説明している
- 説明していない

設問3で肝炎ウイルス検査を実施していると回答した医療機関のうち、結果を患者に説明していると約92%が回答
一方、結果を患者に説明していないと約8%が回答

設問6 肝炎ウイルス検査で「陽性」だった患者への説明方法について教えてください。

文書を交付し、かつ口頭で説明	33
口頭説明のみ	9
口頭で説明を行い、必要時文書を交付している	1
主治医によってことなる	1
総数	44

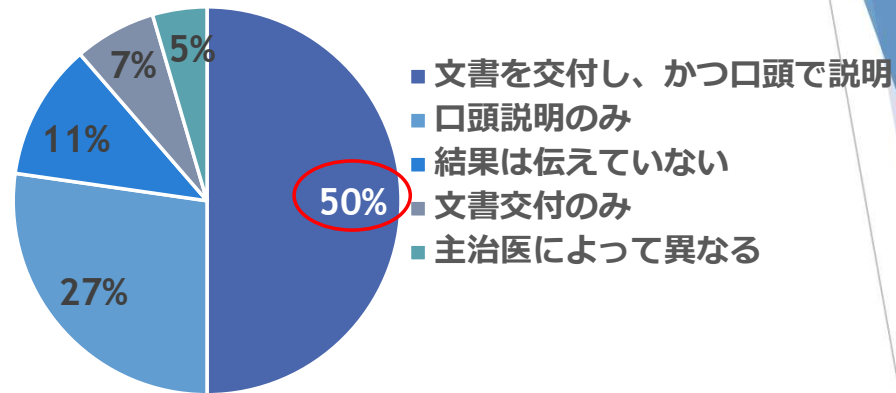


- 文書を交付し、かつ口頭で説明
- 口頭説明のみ
- 口頭で説明を行い、必要時文書を交付している
- 主治医によってことなる

約75%が「陽性」だった患者へ、
文章を交付し、かつ口頭で説明と回答

設問7 肝炎ウイルス検査で「陰性」だった患者への説明方法について教えてください。

文書を交付し、かつ口頭で説明	22
口頭説明のみ	12
結果は伝えていない	5
文書交付のみ	3
主治医によって異なる	2
総数	44



約50%が「陰性」だった患者へ、
文章を交付し、かつ口頭で説明と回答
また、結果を伝えていないと約11%が回答

設問8 検査結果の伝達、受診勧奨を行う上で課題等があればご教授ください。（自由記載）

高齢者は受診や治療を拒否されることがある。
県主導で一律の方法(説明文書も)を決めて、全医療機関に施行を周知する。
近隣に肝臓専門医がない。紹介先が遠い。
短期滞在手術等基本料、手術前医学管理料は算定していないため、文書による提供はしていない

まとめ

- ▶ 手術前医学管理料、短期滞在手術等基本料に包括されている肝炎ウイルス検査を行う場合に、結果が陰性であった場合も含め、結果について患者に適切な説明を行い、文書により提供する必要があることについて
 - 約74% (60) が知っている、約26% (21) が知らない
 - ▶ 肝炎ウイルス検査で「陽性」だった患者への受診勧奨等の対応について
 - 約95% (57) が受診勧奨を行っている、約5% (3) が特に受診勧奨はしていない
 - ▶ 肝炎ウイルス検査結果の患者への説明について
 - 約92% (44) が説明している、約8% (4) が説明していない
 - また、検査結果を説明していると回答した約92% (44) のうち、約11% (5) が「陰性」だった場合結果を伝えていない
- 陰性の場合についても適切に検査結果の説明が行われるために
- ・ 調査結果や検査結果の説明の際に使用できる様式を調査対象の医療機関に還元する
 - ・ 県ホームページにも調査結果や検査結果の説明の際に使用できる様式を掲載する